

# 特別支援学級

## 平成〇〇年度 個別の教育支援計画 〔指導計画〕

平成〇〇年 4月 25日 記入

<b>ふりがな</b>	〇〇〇〇 〇〇〇〇	<b>性</b>	〇	<b>学</b>		<b>記入者名</b>	〇〇 〇〇		
<b>氏名</b>	〇〇 〇〇	<b>別</b>	〇	<b>級</b>	1年〇組	<b>(所属)</b>	(担任)		
<b>診断名等</b>	診断名：知的障害 平成〇〇年〇〇月〇〇日診断 医療機関名：〇〇病院				<b>服薬</b>	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>			
<b>検査結果等</b>	<b>検査名</b>	田中ビネー知能検査V							
	<b>検査結果</b>	IQ〇〇							
	<b>実施期日</b>	平成〇〇年〇〇月〇〇日							
	<b>実施機関</b>	〇〇市教育センター							
<b>障害者手帳</b>	<b>身体</b>	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	級		(平成 年 月 日 交付)				
	<b>療育</b>	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	A1	A2	B1	<input checked="" type="radio"/> B2	(平成〇〇年〇〇月〇〇日 <input checked="" type="radio"/> 交付・再交付)		
	<b>精神</b>	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	級		(平成 年 月 日 交付)				
	<b>家庭状況</b>								
・父、母、姉（小3）、本人、祖母の5人家族。 ・休日は父親や姉と一緒に、近所の駅で電車を見ることを好む。									
<b>本人及び保護者の願い</b>									
[本人] ・電車の運転手になりたい。 [保護者] ・好きなことを生かして、できることを増やして行ってほしい。 ・通常の学級の友達と学習する機会をつくってほしい。									
<b>健康上の配慮</b>									
・鶏卵によるアレルギーがあるので、給食等に配慮する。 アレルギー症状が出た場合の対応を校内で共通理解しておく。									
<b>生活の様子</b>	<b>うまくいっている状況</b>				<b>つまづいている状況と必要な支援</b>				
	<b>学 習</b>	・電車が好きで、写真カードを見ながら電車の名前を言うことができる。				・自分から「～したい」と言うことが少ない。教師が2～3の選択肢を示すと、選ぶことができる。			
	<b>生活習慣</b>	・家族や教師が簡単な手伝いを頼むと、進んで取り組もうとする。				・片付けの最中に遊び出すことがある。作業の手順をメモ帳に絵で示すと、最後までできる。			
<b>対人関係</b>	・好きな友達の名前を覚え、鬼ごっこなど、その友達と同じ遊びをしようとする。				・自分の思いを十分に伝えられず、友達を叩いてしまうことがある。教師が本児の思いを代弁すると、落ち着くことができる。				

1年間の目標	・身近な人に、自ら思いを伝えることができる。
評価	

教科等	指導目標	指導の手立て	評価
国語	・ひらがなの単語カードの弁別ができる。	・電車の写真と名前カードのマッチングを行い、名前の文字数や形の違いで弁別できるようにする。	
算数	・1から5までの数を数えることができる。	・電車の模型などの具体物を用いて、数詞と模型を対応させながら数えることができるようにする。	
生活	・アサガオの成長に気付くことができる。	・アサガオの世話をしながら、支柱に印をつけたり、写真を撮ったりして、成長に気付くことができるようにする。	
音楽	・友達と歌声を合わせて歌うことができる。	・授業の導入に電車の歌を取り入れ、友達と歌えるようにする。	
図画工作	・はさみの安全な使い方が分かる。	・電車の絵の切り抜きを行い、教師の見本を見ながら、はさみの安全な使い方が分かるようにする。	
体育	・リレー遊びに参加することができる。	・見通しがもてるよう、スタートとゴールの位置をカラーコーンで示したり、待つ場所を白線で示したりする。	
特別活動	・友達と一緒に遠足に参加することができる。	・見通しがもてるよう、同じ班の友達や日程について、事前に写真カードなどで確認できるようにする。	
自立活動	・自分の思いを教師に伝えることができる。	・本児が安心して話ができるよう、好きな電車についての話を十分に受け止める時間をつくる。	

合理的配慮	教育内容・方法	・本児が意思を伝える場面では、教師が2～3の選択肢を示し、選べるようにする。 ・生活、音楽、体育は、可能な範囲で通常の学級の授業に参加できるようにし、友達と学ぶ機会をつくる。
	支援体制	・本児に必要な支援の方法について、周囲の児童や教職員にも理解してもらい、同じようにかかわってもらう。 ・災害時に安全に避難できるよう、本児に付き添う教員を決めておく。
	施設・設備	・安心して教室を移動できるよう、音楽室や体育館の入口にイラストを貼る。

記載内容について承諾しました。

平成〇〇年5月10日 保護者氏名 ( 〇〇 〇〇 )